

特定非営利活動法人ディーセントワーク・ラボ 法人概要



Decent Work Labo
ここには「働きがい」があります

すべての人の ディーセント・ワークの実現

一人ひとりが、どこかのコミュニティやグループ等
の中で役割があり、本人も他人もその役割を認識し
ていること。

社会課題

福祉事業所（B型）で働く障がい者の低賃金

働きたい障がい者の増加（就労環境の未整備）

企業で働く障がい者の増加（働くことの困難さ）

国連の障害者権利条約へ
2014年日本も批准。
国際レベルで障がい者の労働環境整備の必要性。

解決の手法



障がい者の特性を活かした強み・価値
+
プロの技術・知識・姿勢



研究成果を障がい者雇用現場に応用
+
現場の知見を言語化、一般化

新たな価値をつくる




これまでにはない
コラボレーション
（新しい関係の構築）
新しい価値観、
仕組みの創出



オリジナル商品の創出
（障がい者は「できない」から強みを活かすと「できる」という考え方の転換）

障がい者雇用の実践・研究から得た知見



【Shinraiワークの基本的な考え】
人は多様な障がい者であるが、それは個性であり、それは強みである。また、それは社会参加の機会である。また、それは社会参加の機会である。また、それは社会参加の機会である。

【対話】
障がい者への「期待」と「リスク」の対話
障がい者への「期待」と「リスク」の対話
障がい者への「期待」と「リスク」の対話

全ての人の「ディーセント・ワーク」へと繋げる
参考: <https://www.dwl-shinrai.org>

手づくりにこだわった商品

equalto

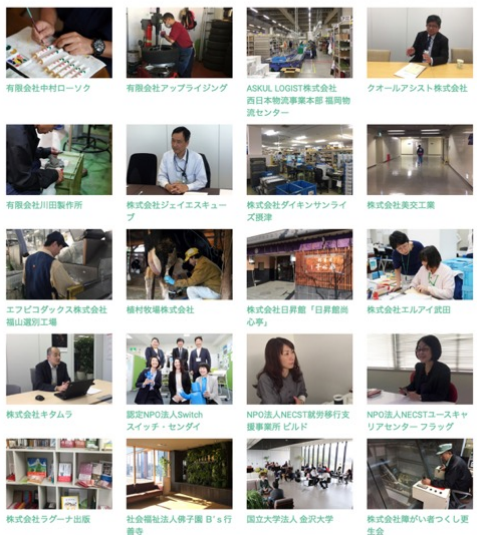


Decent Work Labo [ホーム](#) [5つのエッセンスと情報](#) [研修案内](#) [雇用事例](#) [お問い合わせ](#)

信頼を大切に事例紹介

先駆的な取り組みを行っている企業や法人20ヶ所にインタビュー調査をし、「信頼」という観点からまとめました。これら20事例は、障がい者雇用のみならず、ダイバーシティや多様性を促進する哲学がたくさん含まれています。また、今回のインタビューでは、「長く働き続けることも10としたときに」「本人のセルフケア力」「職場のサポート力」「外部の実業力」(※)のそれぞれの重要な割合はどのようになると思いますか?という質問をし、その理由とともに回答してもらいました。この質問には答えがあるわけではないのですが、それぞれの企業や事業所の考え方が表れているように思いました。

※出典：株式会社JINEN DO「セルフケア」の資料より



ディーセント・ワークを目指した 職場と組織をつくる

ポジティブな障がい者雇用にみるティール組織




Decent Work Labo



**就労継続支援
B型事業所における
支援プログラムとマネジメント
ガイドライン**

ディーセント・ワークを
ベースとして

< ポジティブな障がい者雇用にみるティール組織Web >

<https://www.dwl-shinrai.org>

< 冊子 >

http://decentwork-labo.org/2018wam_book.pdf

http://decentwork-labo.org/top/wp/wp-content/uploads/2021/04/2021guideline_A3.pdf

NPO法人ディーセントワーク・ラボについて



Decent Work Labo
ここには「働きがい」があります



Decent Work Labo

主な事業：

- 福祉コンサルティング
 - ものづくり（小物ブランドequalto、スイーツPJ、お土産）
 - ビジョンづくり
 - 沖縄での農福連携
 - 店舗運営
- 障害者雇用コンサルティング
 - 導入から定着までのサポート、組織改革、CSR/CSV、SDGs
 - 企業内ソーシャルワーカーによるサポート
- 調査研究事業
 - 障がい者就労・雇用の知見を一般化、政策提言
- 研修事業
 - 企業、行政、学校、福祉事業所等への研修、セミナー、ワークショップ

その他：

慶應義塾大学牛島ゼミと美術系大学の学生とのプロジェクト
インクルーシブな社会を目指したトントッフエスの開催

名称	特定非営利活動法人 ディーセントワーク・ラボ
設立	2013年6月
所在地	東京都大田区北千束3-28-9 VANフラッツ401
代表者	中尾文香
主な事業	福祉コンサルティング 障害者雇用コンサルティング 調査研究事業 研修事業
主な取引先 (敬称略)	株式会社アクセンチュア、株式会社アッシュコンセプト ワイジェイFX株式会社、ウイングアーク1st株式会社、京都市、社会福祉法人、NPO法人等
主な実績	2013年10月equaltoブランド設立 2014年11月グッドデザイン賞受賞 2015年6月インテリアライフスタイル展出展 2016年3月おもてなしセレクション2016受賞 2017年4月(独)福祉医療機構による助成採択(終了後、優良事例として認定) 「障がい者の特性に着目した仕事作り研修事業」 2018年4月(独)福祉医療機構による助成採択(終了後、優良事例として認定) 「障がい者就労・雇用を導くリーダー研修事業」 2019年12月(公財)大和証券福祉財団 令和元年度(第26回)ボランティア活動助成採択 「障がい者と学生等との交流イベント」 2020年4月公益財団法人JKAによる公益福祉振興補助事業採択 「スポーツ&エンターテイメントで体感しながら『インクルーシブな社会』を目指すフェスティバル！」 2020年7月READYFOR“新型コロナウイルス感染症：拡大防止活動基金 第4期2回目採択 「障がい者と事業所等向けテレワーク推進とメンタルヘルス促進 サポート」 2020年12月～2021年3月 京都市「障害のある方が戦力として活躍できるディーセント・ワークの創出と、ソーシャル・イノベーションで持続可能な社会を目指す地域企業アイデアソン・成果発表のWEB制作」 2020-21年 「厚生労働科学研究費補助金(障害者政策総合研究事業)「就労継続支援B型事業所における精神障害者等に対する支援の実態と効果的な支援プログラム開発に関する研究(19GC1006)」(研究代表者:八重田淳)研究協力として 2021年4月公益財団法人JKAによる公益福祉振興補助事業採択 「eスポーツ&エンタメで体感しながら『インクルーシブな社会』を目指すオンラインフェスティバル！」



NPO法人ディーセントワーク・ラボ 代表理事
トントウ・プロジェクト、トントウ・フェスティバル 呼びかけ人
中尾文香 Ayaka NAKAO Ph.D

働くすべての人のディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）の達成」をミッションとし、特に、障がい者が社会の中で役割があり、仕事を通して働きがいを得られるように、障がい者と社会をつなげる活動を行う。

博士(社会福祉学)。社会福祉士。2016年東洋大学大学院福祉社会デザイン研究科博士後期課程修了。研究のテーマは、障がい者就労・雇用、QWL（Quality of Working Life）、ディーセント・ワーク、社会課題とCSV。機器のアクセシビリティ調査、保育関連のコンサル、福祉事業所の就労コンサル等に携わった後、2013年にNPO法人ディーセントワーク・ラボを設立し、福祉施設がつくる小物ブランドequalto（イクォルト）事業を実施。2017年より企業を対象とした障がい者雇用に関するコンサル、社会課題、CSV、SDGsなどに関するコンサルをスタートした。その他、研修や講演など幅広く活動を行っている。厚生労働省「障害者の就労能力等の評価の在り方に関するワーキンググループ(第1WG)」専門アドバイザー。著書に『障害者への就労支援のあり方についての研究』（風間書房）、『自分史上最高の働き方がわかるワーク』（小学館）などがある。